

# 梅雨時期の交通事故防止

梅雨入りが近づいてきました。雨が多くなるこの時期は、視界不良やスリップによる交通事故が多発しています。また、天候不順による交通渋滞も起こりやすく、事故のリスクが高まります。雨の日は、改めて以下のことに注意し、安全運転を徹底しましょう。

## ○ゆとりをもった運転を

雨の日は交通渋滞が起こりやすく気分がイライラしがちです。いつも以上に時間にゆとりを持つことが大切です。濡れた道路は停止距離も長くなります。車間距離も十分取りましょう。

## ○早めの点灯を

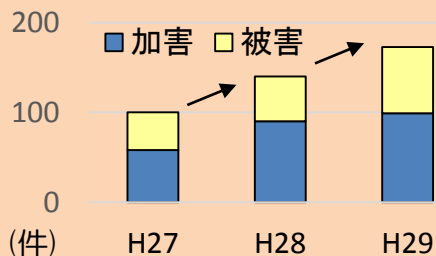
雨の日は、昼間でも薄暗く、視界も狭くなりがちです。また、歩行者は傘を差しているため、車の接近に気づかないことがあります。昼間でも「暗い」と感じたら、迷わずライトを点灯し、視界を確保するとともに、自分（車）の存在を知らせましょう。

## ○車の定期点検も忘れずに

タイヤの溝や空気圧、ワイパーの状態など、雨の日は運転前の点検もいつも以上に注意しましょう。

## ○自転車の運転にも注意を

自転車の運転も注意が必要です。傘差し運転は法令違反、厳禁です。また、雨の日は、自動車から歩行者や自転車が見えにくくなるため、車から反射材やライトの点灯で、自分の存在をアピールすることも大切です。



管内教職員の交通事故件数の推移

## 教職員による交通事故の報告が増えています！

管内小中学校教職員による交通事故の報告件数が年々増加しており、とても心配な状況です。上記のような安全運転を徹底するとともに、万が一事故を起こしたり、事故に遭ってしまったりした時にすべきことも確認しておきましょう。たとえ軽微な事故で、相手が「大丈夫」と言っても、警察への連絡は必ずしましょう。ひき逃げ等の罪に問われる可能性もあります。

①けが人の救出 → ②警察へ連絡 → ③所属長へ連絡 → ④保険会社等へ連絡